

6月7日(土)には、運動会を行いました。
当日は、晴天に恵まれ、子供たち全員が力を発揮することができました。
運動会当日の朝、子供たちに話した内容は次の通りです。

運動会校長挨拶

今日は、待ちに待った運動会です。
お家の方々や地域の方々、卒業生の人たち、たくさんの方々に応援してもらえる運動会。
たくさんの方々の姿を拝見すると、私まで嬉しさがこみ上げてきます。
たくさんの方々から応援してもらえると、力がたくさん湧いてきますね。

今回のスローガンは「笑顔 協力 全力 みんなが一つになる運動会に」です。
みんなの頑張りを集めて、一つの思いでよい運動会にしようという思いがこのスローガンに詰まっています。
一人一人の力をすべて出し切って、頑張ってもらいたいと思っています。

これから皆さんに、「全力」「力を出し切る」とはどのようなことなのかをお伝えします。よく聞いていてください。

力を出し切るために大事なことは、
一つ目、「決められたことを決められたようにやること」です。
運動会のすべての時間には、決められたやり方があります。
入場や退場の仕方、話の聞き方、応援の仕方、並び方、集まり方、役割の仕方など
それらを決められたとおりに、真面目に、誠実に、確実に行うことが、力を出し切ることになります。

もう一つ大事なことは
「人を思いやること」です。
運動会のすべての時間の中で、人がどう動き、どう感じているのかをよく捉え、ここにいる一人一人がしてあげられることを、してあげられる分だけしてあげてください。
いつも近くに大人がいるわけではありません。小さな子も大きな子も、一人一人が自分と人のことを考え、自分にできることを進んでするということが、力を出し切ることになります。

運動会の時間は8時30分から12時までのわずか3時間30分です。
その短い時間の中で、西小の全員が、自分がどんな風に行動したらよいのかを考えて、実際に行動に移せば、全員が「力を出し切る」ことになります。

皆さん一人一人に、力があります。
その大きさはそれぞれでも、みんなに力があります。
どうか、その力を出し切ってほしいと思っています。

私はこの運動会を通して、自分以外の方が力を出し切る姿を見て、ああなりたいと憧れをもってほしい。
練習の成果を発揮して、これまでの自分を超越しようと頑張り、頑張れた自分に自信をもってほしい。
そして、見に来てくださった方々に、その頑張る姿を見せてあげてほしい。

そんな全員の力が輝く運動会の実現を心から祈って、そして皆さんにお願いして、私の話を終わりにします。
頑張りましょう。